

---

# 意味が分かった怖い話 ストーカー

流星群

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

意味が分かると怖い話 ストーカー

### 【コード】

N0503BA

### 【作者名】

流星群

### 【あらすじ】

意味が分かると怖い話シリーズ第八弾。いよいよネタがなくなってきました……。どうしよう。

## (前書き)

《作者からの一言メモ》

まずはお詫びを。

昨日投稿するはずが一足遅くなりました。すいません。

しかも完成度が低い……。どうしようもないです。ネタもつきてきたし。酷いです。

とりあえず、存分に恐怖しちゃってください！

深夜の暗い夜道に女が一人  
彼女は帰宅しようとしていた

けれど

一定の距離を空けて付いてくる気配があった

「何、誰？」

（ストーカーだろうか……？）

今まで彼女はストーカーの被害にあったことがなかった

だから、どうしていいのかわからなかった

けれど、もしも付いてきてるのがストーカーだった場合にと考え、

彼女はそのまま家へと帰らず、遠回りをした

「まだ付いてくるの？」

かれこれもう一時間以上後を付けられていた

気力はまだまだあるが、さすがに彼女も度の超えた迷惑に耐えられ  
ず、

警察に通報しようかと思っていた頃、突然気配が消えた

「やっと、いなくなった……」

安堵した彼女は、本来の道に戻り、家に向かった  
ほどなくして無事家の前まで辿り着く

玄関の前で立ち止まり、  
なんだっただんたろうあの気配と考えていた矢先に

「すみません。あなた　　さんですか？」

後ろから声を掛けられ、びくつと彼女は反応した

「はい、そうですが」

振り向くと、そこには警察手帳を持った刑事が立っていた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0503ba/>

---

意味が分かると怖い話 ストーカー

2012年1月1日00時55分発行